



ALPINE REPORT

第48期第2四半期（中間）決算報告書

2013年（平成25年）4月1日～9月30日



株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第48期第2四半期決算報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当上半期におきましては、国内新車販売が減少し、国内市販ビジネスには厳しい事業環境でございましたが、主力商品である「BIG X」の車種専用・パーフェクトフィットを更に進化させた新商品を7月から販売開始致しました。大画面のみならず装着時の高級感、更には車載機としてのシステム機能面を訴求し拡販に努めました。ご購入頂いたお客様にも高級感、使いやすさを認めて頂き、権威ある顧客満足度調査において2年連続ナンバーワンを受賞することができました。また、自動車メーカー様向けビジネスにおいては、北米自動車メーカー様から、当社製品の高い品質を評価頂きお客様のサプライヤー大会にて当社が栄えある表彰を頂

Driving Mobile Media Solutions™

モバイルメディアの未来価値へ

きました。いずれの受賞も当社のモノづくりに対する姿勢を高く評価頂いたことであり、大変栄誉なことと嬉しく思っています。

今後とも「品質・コスト・納期」の飽くなき改善を基軸に、お客様に満足頂けるような製品をお届けできるよう全社一丸となって取組んでまいります。

業績面では、米国における消費動向の回復に伴い新車販売が好調に推移したこと、また、世界一の新車販売市場となった中国において当社のお客様である欧州高級自動車の販売が引き続き堅調であったことから当社製品の販売も好調に推移致しました。更には昨年の政権交代以降、アベノミクス効果で行き過ぎた円高が是正され、大きな為替変動もなく安定的に推移したことなど、当社を取り巻く事業環境が改善したことにより売上、利益ともに期初計画を上回り、前期比増収増益と



なりました。

尚、中間配当につきましては一株につき、10円とさせて頂きました。

また、下期におきましては、先送りとなった米国の財政問題、中国市場の不透明感などの懸念はございますが、今後とも自動車メーカー様向けビジネスの一層の拡大を目指し、通期目標の売上と利益を達成していく所存です。

自動運転が注目されるなどクルマの電子化は益々進み、変化の激しい事業環境ではございますが、自動車産業はグローバルで今後とも拡大していく成長産業であると捉えています。当社と致しましては、現在お取引引きさせて頂いている自動車メーカー様を中心に中・長期的なビジネス受注活動にも注力し、売上の確保と利益水準の改善に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年11月

代表取締役社長

宇佐美 徹

アルパイン企業理念

アルパインは、人々の心を大切にし、仕事の質を高め、活力に溢れた魅力ある企業を目指します。

1. 「個性の尊重」

アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、人を育て、人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

2. 「価値の創造」

アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

3. 「社会への貢献」

アルパインは品位ある製品の提供を通じ、明日の豊かな社会作りに貢献します。



Audio



Visual



Navigation



Communication



Drive Assist

事業報告

音響機器事業

当事業部門では、北米市販市場で高精細の高画質ディスプレイを搭載したCDプレーヤーの投入に加え、サウンドシステムの販売強化を図るとともに、欧州市販市場ではエントリーモデルのBluetooth機能搭載CDプレーヤーや、市場から好評を頂いたスマートフォン用アプリケーションに対応した高付加価値機能搭載のCDプレーヤーの拡販に注力しました。しかしながら、競合他社との価格競争激化に加え低迷する市況の影響もあり、売上は横這いで推移しました。

自動車メーカー向け純正品は、北米で昨年9月より販売が開始された日系自動車メーカーの新車に採用された音響製品や米国自動車メーカー向けサウンドシステムの販売好調に伴い、売上が増加しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は347億円（前年同期比17.3%増）となりました。

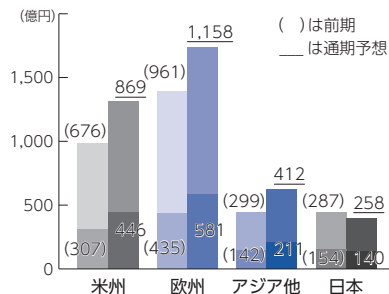
情報・通信機器事業

当事業部門では、国内市販市場において競合各社との販売競争が厳しさを増すなか、車種専用ビジネスを推進し、引続き大画面ナビゲーション[BIG X]シリーズの拡販に注力しました。特に、ドライバーと同乗者全員のニーズの把握や差別化の深耕に努め、ファミリー層への訴求を強化した新製品を投入しました。更にカー用品専門店に加え、自動車ディーラーへの営業活動を引続き推進し販売網の拡充を図りましたが、国内の新車販売減の影響を受け、売上は減少しました。

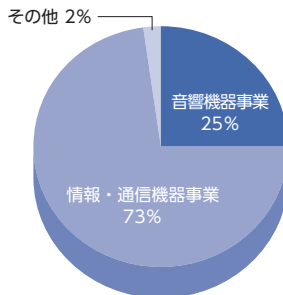
自動車メーカー向け純正品は、北米市場における日系自動車メーカーの新車でナビゲーション機能を核としたディスプレイ付き複合製品の搭載率が高まりました。加えて、搭載車種の販売も好調に推移しました。更に当社製品が搭載されている欧州高級自動車メーカーの新車販売が北米及び中国において引続き好調であったことから、売上が増加しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は1,031億円（前年同期比38.8%増）となりました。

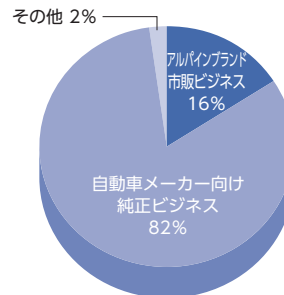
地域別売上状況



事業部門別売上比率



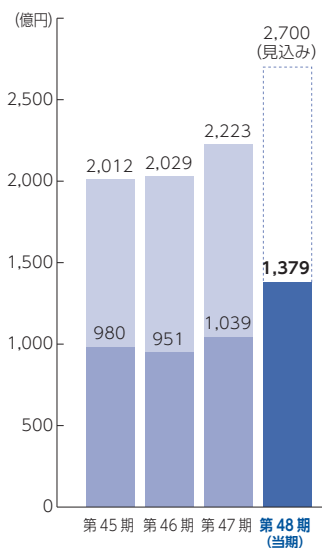
仕向け先別売上比率



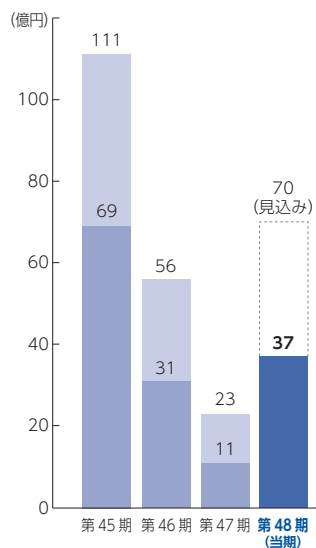


主要経営指標の推移

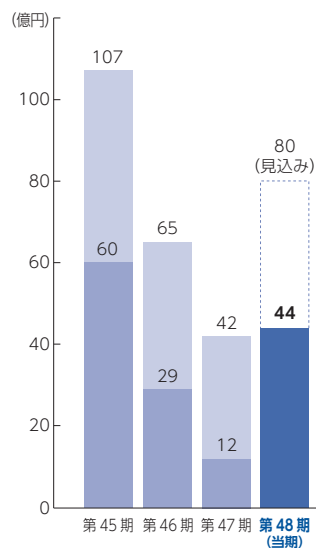
売上高



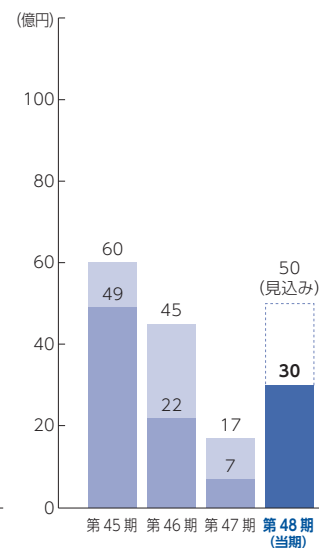
営業利益



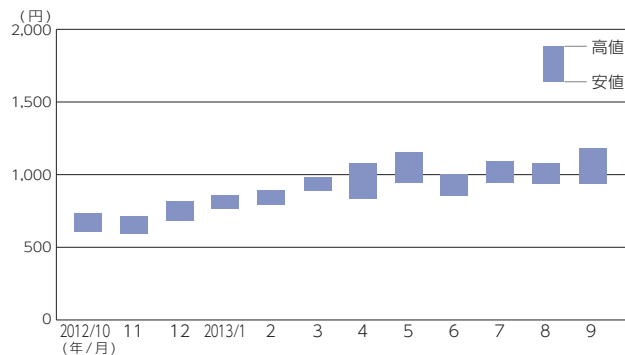
経常利益



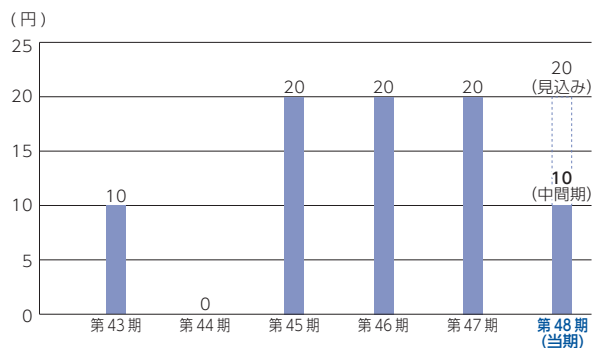
当期純利益



株価時系列データ



配当金推移





2013年下期新製品発表



BIG Xプレミアム N BOXモデル

今夏の発売以来、市場で好評を博している「BIG Xプレミアムシリーズ」のホンダ N BOX専用モデル[EX008V-NB]、同フリード専用モデル[EX009V-FR]、トヨタ・プリウスG's専用モデル[EX009V-PR-PB]、プリウスマイコーデ／PHV専用モデル[EX009V-PR-MM]を中心とした2013年下期新製品を発表しました。

今年6月に発売した「BIG Xプレミアムシリーズ」は、業界で最大サイズとなる9インチディスプレイにあわせて、車種専用デザインされた操作キーを装備。純正コンソールと一体化した美しい装着を実現しながら、ピアノブラックのボディやLEDライティングによるスタイリッシュな存在感を持つ製品として、お客様から高い評価を頂いています。

こうした高い評価をもとにした「BIG Xプレミアムシリーズ」の新製品は、本年上半期の軽自動車販売台数においてナンバーワンとなったホンダ N BOX向け専用モデル(8インチディスプレイ搭載)と、小型ミニバン市場で人気のホンダ フリード向け専用モデル(9インチディスプレイ搭載)です。両車種ともに、子育て家族が選ぶファミリー



幅広いラインナップを用意したリアビジョン

カーとして定着しており、より幅広いお客様に「BIG Xプレミアムシリーズ」をご利用頂けることになりました。

高画質を目指したスーパークリアパネル液晶は、透過率が高いガラス静電パネルと低反射フィルムを採用するとともに、明るさや色合い、コントラストを車種ごとにチューニング。地図や映像が明るく見やすい、高精細な画質を実現しています。

更に、リアビジョンと接続して後席のみでDVDを再生し、前席では地デジや音楽を楽しめる「ダブルゾーン」機能や、専用のスマートフォン向けのアプリケーション「家族のおでかけ検索」など、これまでも好評な子育て家族のドライブをサポートする数々の機能も満載しています。

このほかにも、10.2インチの大画面から7インチまで4機種のコストパフォーマンスに優れたアーム取付け型リアビジョンも発表。新製品として車種専用モデルが拡大した「BIG Xプレミアムシリーズ」を中心として「子育て家族のカーライフを幸せにする」ことを目指します。

サウンドチューニングアプリケーションと対応ヘッドユニットが高評価

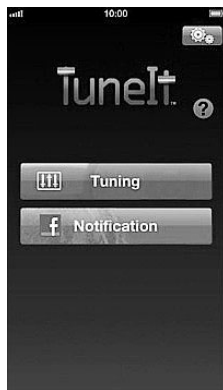
北米・欧州・アジア・オセアニア向けに4月からリリースしたスマートフォン向けのサウンドチューニングアプリ「Tunelt」が現地の販売店様と多くのユーザーから高く評価されています。

「Tunelt」はリリース以来の半年間で約10万件ダウンロードされており、対応ヘッドユニットの販売も堅調に推移しています。

アプリケーションをダウンロードしたスマートフォン(iPhone/Android)を用いて車室内のサウンド調整をより簡単・快適に操作でき、またお客様が自ら調整した音響データをサーバーにアップすることで友人と共有することもできます。

更に「Tunelt」には「Facebook」との連携機能もあり、新着情報を画面表示と音声でお知らせするほか、音声読み上げ機能や「いいね」操作も当社のヘッドユニットで可能としています。

当社は引き続きユーザーのニーズを捉えた技術開発により、アルパインらしい魅力ある商品の提供を目指します。



サウンドチューニングアプリ「Tunelt」



「Tunelt」対応ヘッドユニット

アルパインのCSR活動

日本国内でアルパインブランド製品を販売するアルパインマーケティング(株)と、その修理・メンテナンスを行うアルパインカスタマーズサービス(株)では東日本大震災以降、アルパイン製品をご利用のお客様が国内災害において罹災した場合、製品の保証期間を問わず、特別価格にて点検、修理対応を行っています。

直近では9月15日から16日にかけて襲来した台風18号によって被害に遭われたお客様に対してアルパインマーケティングのホームページ及び当社製品取扱ディーラー様に直接告知し、6件の修理対応を実施しました。対象エリアのディーラー様より、「迅速な支援決定に感謝します」とのコメントを頂き、アルパインの取組みを高く評価頂きました。

また東日本大震災時には約50件の特別修理対応を実施、過去の豪雨被災者や竜巻被災者などにも同様の措置をとっています。

当社製品をご愛顧頂いている大切なお客様が不幸にも被災された中、できるだけ長く当社製品をご愛用頂きたい、少しでもお客様のお役に立ちたいという現場の声から始まった取組みです。

アルパインは引き続き、ユーザーの皆様によりご満足頂けるアフターサービスの提供を目指すとともに、企業としての責任を果たしてまいります。



特別価格対応のご案内(ホームページにて)



ITS^{*1}世界会議に出展



アルパインブース

2013年10月14日から18日までの5日間、東京ビッグサイトにおいて「第20回ITS世界会議 東京2013」が開催されました。

ITS世界会議は欧州・アメリカ・アジア太平洋地域のITS団体が連携して毎年共同で開催するもので、技術開発はもちろんのこと、道路行政の取組み、市場動向など幅広い観点から議論を行い、ITSの普及による交通問題の解決及びビジネスチャンスの拡大を図ろうとするものです。また会議と並行して、開催国の自動車メーカー、エレクトロニクスメーカー各社による最先端のITS機器やシステム機器の技術展示が行われました。

ITS最先進国・日本での開催であることから、当社からも「スマートなモビリティ社会を実現するアルパインのITS」をテーマに、長崎EV&ITS^{*2}に納入した「地域観光・EV誘導ナビ」、自動車メーカーに

納入した「DSSS^{*3}対応ナビ」など、先行開発の取組みを出展致しました。来場者からは画面の見易さや操作性において高く評価頂くとともに、将来の車載機器・ITサービス・生活との繋がりについて広聴することができました。

アルパインは引き続き先進技術開発に取組み、エコドライブ機能の実現と快適・安心・安全なモビリティ社会の実現を目指していきます。

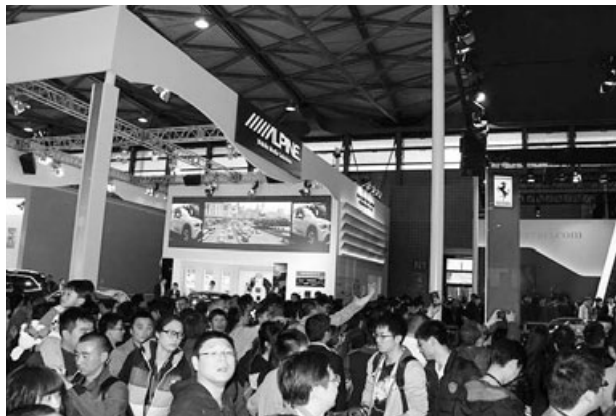
- ※1 ITS: Intelligent Transport Systems (高度道路交通システム)
- ※2 長崎EV&ITS: 長崎県五島市においてEVを核としたドライブ観光システム/社会ネットワークの構築を目的としたプロジェクト
- ※3 DSSS: Driving Safety Support Systems (安全運転支援システム)

上海モーターショーに出展

2013年4月20日から29日まで、上海にて「オート上海2013(上海モーターショー)」が開催されました。期間中、前回は大幅に上回る約81万人の来場者があり、大変盛り上がりました。

アルパインブースでは「AlpineStyle」をテーマに、Nokiaスマートフォンと繋ぐことでスマートフォン向けのアプリケーションと連動するMirrorLink™機能対応の「ICS-X8」や「ICS-X7」、Bluetooth搭載最新ヘッドユニット「CDE-148CBT」など、最新モデルを多数展示しました。中でも、今回初めての展示となる10インチ大画面「AVN INE-Z9310RT」は、サウンドプロセッサやデジタルアンプなどと組み合わせたトータルシステムを提案した展示を行い、圧倒的な大画面で多くの来場者の関心を集めていました。

アルパインはユーザーのニーズを捉えた製品の開発により、成長著しい中国市場でのブランドポジション確立を目指します。



アルパインブース

産学協同人材育成



留学生と関係者

8月5日～9日、中国の東軟信息学院の学生2名がインターンとしてアルパインいわき事業所を訪問しました。

これは2010年に締結された実践的IT人材育成モデルの構築を目指すDNAプロジェクト(大連の東軟信息学院と福島(アルパイン・会津大学)の産学協同人材育成)の一環として、東日本大震災により中断していたプロジェクトの再開を目的としています。

昨年は会津大学より2名の学生を中国 東軟信息学院へ派遣し、その後アルパイン中国開発センターにてインターンを実施しました。今回、会津大学とアルパインにて東軟信息学院の学生を受け入れることでプロジェクトを活性化することを目的としています。

アルパインにおけるインターンでは市販製品、OEM製品それぞれの製品評価を学んだ他、幅広い開発業務を体験してもらいました。

引き続き、当プロジェクトを強力に推進することにより人材育成・社会貢献活動に取組んでまいります。



アルプス・アルパインのグループ取組み強化



アルプス・ノースアメリカ デトロイトオフィス

車載クラウド領域におけるリサーチを目的として2011年10月に設立されたアルパイン・シリコンバレーが2013年6月、アルプス電気(株)の北米統括拠点であるアルプス・ノースアメリカ ヘッドオフィスに移転しました。アルプスグループの連携を一層高めることで総合力を発揮し、自動車とスマートフォンをリンクする新しいアプリケーションの開発や、今後のアルパインの車載ビジネスに繋がるIT技術の発掘に積極的に取組んでまいります。

また7月にはアルパイン・デトロイトオフィスがアルプス・ノースアメリカのデトロイトオフィスに移転しました。新オフィスはデトロイト空港から約1時間のアーバンヒルズという場所にあり、GM様までは約30分、クライスラー様までは約10分と大幅に近くなりました。顧客との密接なコミュニケーションの実現と、同じくグループシナジーの創出を目的としています。

今後アルプス電気(株)、アルパイン相互の強みを活かせるような共同提案を実施し、受注活動の強化を図ります。

新任取締役メッセージ (平成25年6月就任)



略歴:

昭和33年11月生
昭和56年 4月 当社入社
平成15年 4月 システム設計部長
平成21年 4月 部長 OEM製品開発副担当
平成22年 7月 理事 OEM製品開発副担当
平成25年 6月 取締役 OEM製品開発担当(現任)

取締役 OEM製品開発担当 **田口 周二**

取締役 OEM製品開発担当を拝命致しました田口と申します。

取締役就任にあたり、改めて責任の重さを実感するとともにOEM部門という当社売上の半分を占める分野を担当することに大きなやりがいを感じております。

強いOEM部門をつくり、更にアルパイン全体として高い収益が確保できる体制づくりにリーダーシップを発揮し、全力で取組んでまいります。

クルマの電子化に伴い、当社製品におけるソフトウェア開発も大規模化しております。ドライバーの安全安心を配慮した車載情報センターとしての位置づけにある当社製品においてはシステムインテグレーション技術、製品評価技術が益々重要となっております。またアルパインの発展にはアルプス電気(株)との協業も重要です。アルプス電気(株)のインプット技術とアルパインのアウトプット技術を組み合わせることで、これまでになかった新しいHMI*の提案が可能となります。結果として自動車メーカーのトレンドであるモジュール化、プラットフォームの共有化にも対応できると考えております。

アルパインを取り巻く環境は常に変化しておりますが、この環境変化を当たり前のことだと捉え、変化に対応し、更にチャンスとして活用しなければなりません。何事も「できると思えば、絶対できる」の精神で取組み、目標の実現に向けて邁進していく所存ですので、ぜひ株主の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

※Human Machine Interface (人と機械が情報をやりとりする手段)

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

| | 第48期第2四半期 2013年9月30日現在 | 第47期 2013年3月31日現在 | | 第48期第2四半期 2013年9月30日現在 | 第47期 2013年3月31日現在 |
|-------------|---------------------------|----------------------|-----------------|---------------------------|----------------------|
| 資産の部 | | | 負債・純資産の部 | | |
| 流動資産 | 124,252 | 113,311 | 流動負債 | 56,657 | 49,026 |
| 現金及び預金 | 42,108 | 34,070 | 支払手形及び買掛金 | 33,601 | 27,629 |
| 受取手形及び売掛金 | 38,683 | 38,207 | 短期借入金 | — | 239 |
| たな卸資産 | 30,959 | 29,316 | その他 | 23,052 | 21,157 |
| その他 | 12,500 | 11,717 | 固定負債 | 9,222 | 9,044 |
| 固定資産 | 58,678 | 54,750 | 繰延税金負債 | 5,715 | 5,478 |
| 有形固定資産 | 25,542 | 23,944 | その他 | 3,506 | 3,566 |
| 無形固定資産 | 2,229 | 2,438 | ② 負債合計 | 65,879 | 58,070 |
| 投資・その他の資産 | 30,906 | 28,367 | ③ 株主資本 | 108,567 | 106,129 |
| | | | その他の包括利益累計額 | 7,440 | 2,897 |
| | | | 少数株主持分 | 1,045 | 963 |
| | | | 純資産合計 | 117,052 | 109,991 |
| ① 資産合計 | 182,931 | 168,061 | 負債・純資産合計 | 182,931 | 168,061 |

(単位:百万円)

[連結財務諸表のポイント]

① 資産合計

現金及び預金の増加80億円、たな卸資産の増加16億円、有形固定資産の増加15億円、投資有価証券の増加22億円等により、前連結会計年度末比148億円増加の1,829億円となりました。

② 負債合計

支払手形及び買掛金の増加59億円、短期借入金の減少2億円、未払費用の増加14億円、製品保証引当金の増加4億円等により、前連結会計年度末比78億円増加の658億円となりました。

③ 株主資本

自己資本比率は63.4%であり、引続き財務の健全性を維持しています。

④ 売上高

北米及び欧州の自動車メーカー向け純正品販売が好調に推移したことから増加し、前年同期比32.7%増の1,379億円となりました。

⑤ 営業利益

売上高の増加に加え、為替レートが予想よりも円安に推移したことから増加し、前年同期比232.5%増の37億円となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益48億円、減価償却費29億円、売上債権11億円の減少及び仕入債務29億円の増加による資金の増加、法人税等の支払い16億円により、120億円の増加となりました。

また、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリーキャッシュ・フローは70億円の増加となりました。



連結損益計算書

| | 第48期第2四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日 | 第47期第2四半期累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日 |
|----------------|---|---|
| ④ 売上高 | 137,981 | 103,992 |
| 売上原価 | 115,380 | 88,568 |
| 販売費・一般管理費 | 18,819 | 14,287 |
| ⑤ 営業利益 | 3,781 | 1,137 |
| 営業外収益 | 1,011 | 890 |
| 営業外費用 | 316 | 732 |
| 経常利益 | 4,476 | 1,296 |
| 特別利益 | 514 | 1,301 |
| 特別損失 | 93 | 83 |
| 税金等調整前当期純利益 | 4,897 | 2,513 |
| 税金(法人税等) | 1,821 | 1,755 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 3,076 | 757 |
| 少数株主利益 | 61 | 7 |
| 当期純利益 | 3,014 | 749 |

(単位:百万円)

連結包括利益計算書

| | 第48期第2四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日 | 第47期第2四半期累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日 |
|----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 3,076 | 757 |
| その他の包括利益合計 | 4,562 | △3,962 |
| 包括利益 | 7,638 | △3,204 |

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

| | 第48期第2四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日 | 第47期第2四半期累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日 |
|------------------------------------|---|---|
| ⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー | 12,008 | △4,744 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,942 | △8,069 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △719 | △1,428 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,481 | △1,200 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 7,827 | △15,443 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 34,052 | 43,947 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少) | 212 | — |
| 現金及び現金同等物の当期末残高 | 42,091 | 28,504 |

(単位:百万円)

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

会社概要 (2013年9月30日現在)

| | |
|------------|--|
| 社名 | アルパイン株式会社 |
| 英文社名 | ALPINE ELECTRONICS,INC. |
| 本社 / 東京事務所 | 〒141-8501 東京都品川区西五反田一丁目1番8号 TEL 03(3494)1101 (大代表) |
| いわき本社 | 〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地20番1号 TEL 0246(36)4111 (大代表) |
| 設立 | 1967年5月 |
| 発行可能株式総数 | 160,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 69,784,501株 |
| 資本金 | 259億2,059万円 |
| グループ従業員数 | 11,400名(連結ベース35社合計) |
| 国内関係会社 | アルパインマーケティング株式会社 アルパインテクノ株式会社 アルパインマニュファクチャリング株式会社 アルパインプレジジョン株式会社 アルパイン技研株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパインビジネスサービス株式会社 アルパインカスタマーズサービス株式会社 他4社 |
| 海外関係会社 | アルパイン・アメリカ アルパイン・ヨーロッパ アルパイン・中国 アルパイン・アジア・パシフィック 他26社 |
| ホームページアドレス | http://www.alpine.com/j/ |

役員状況 (2013年9月30日現在)

| 氏名 | 当社における地位及び担当または主な職業 |
|-------|-----------------------|
| 宇佐美 徹 | 取締役社長 (代表取締役) |
| 森岡 洋史 | 常務取締役 技術・開発統括 |
| 梶原 仁 | 常務取締役 生産・購買担当 |
| 甲斐 政志 | 常務取締役 管理担当 |
| 片岡 政隆 | 取締役 アルプス電気(株) 代表取締役会長 |
| 相馬 聡 | 取締役 欧州担当 |
| 小林 俊則 | 取締役 営業担当 |
| 遠藤 浩一 | 取締役 製品開発担当 |
| 水野 直樹 | 取締役 中国担当 |
| 田口 周二 | 取締役 OEM製品開発担当 |
| 田中 統治 | 常勤監査役 |
| 飛田 勝美 | 常勤監査役 |
| 小島 秀雄 | 社外監査役 公認会計士 |
| 米盛 泰輔 | 社外監査役 弁護士 |

※小島 秀雄氏は、東京証券取引所の定めに基づく「独立役員」です。

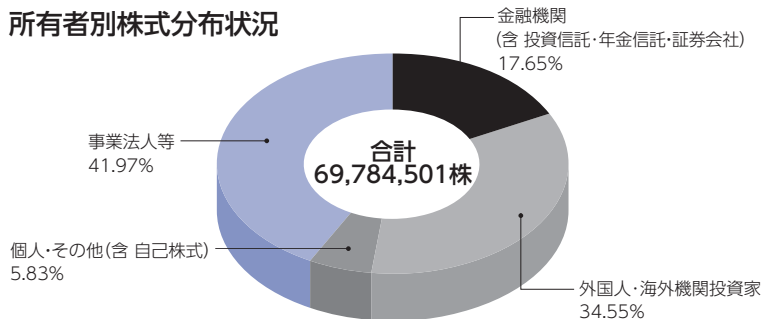


株式の状況 (2013年9月30日現在)

| 大株主 株主名 | 当社への出資状況 | | 当社の大株主への出資状況 | |
|---|----------|-------|--------------|------|
| | 持株数 | 持株比率 | 持株数 | 持株比率 |
| アルプス電気株式会社 | 28,215 | 40.43 | — | — |
| OM04SSB・クライアント・オムニバス | 4,500 | 6.45 | — | — |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行 (信託口) | 3,282 | 4.70 | — | — |
| 日本マスタートラスト信託銀行 (信託口) | 2,478 | 3.55 | — | — |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行 (信託口9) | 1,906 | 2.73 | — | — |
| ノーザン・トラスト・カンパニー(AVFC)サブ・アカウント・アメリカン・クライアント | 1,481 | 2.12 | — | — |
| ステート・ストリート・バンク&トラスト・カンパニー505225 | 1,085 | 1.56 | — | — |
| ステート・ストリート・バンク&トラスト・カンパニー505103 | 923 | 1.32 | — | — |
| ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・トリシティ・ジャスデック・アカウント | 845 | 1.21 | — | — |
| ノーザン・トラスト・カンパニー・AVFC・アカウント・ノン・トリシティ | 821 | 1.18 | — | — |
| UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT | 771 | 1.10 | — | — |
| アルパイン社員持株会 | 764 | 1.09 | — | — |
| ステート・ストリート・バンク&トラスト・カンパニー | 749 | 1.07 | — | — |
| ザ・チェース・マンハッタン・バンク 385036 | 629 | 0.90 | — | — |
| 本田技研工業株式会社 | 585 | 0.83 | 3,600 | 0.19 |

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

決算期日 年回 3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 基準日 定時株主総会については、3月31日。
 その他必要がある時は予め公告致します。

定時株主総会
 公告掲載
 6月下旬
 電子公告により、当社ホームページ
 (<http://www.alpine.com/j/investor/index.html>) に掲載致します。尚、やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。

※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET (金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム) にて開示しております。

上場証券取引所
 証券コード 東京証券取引所市場第1部
 6816
 売買単位 100株 (1単元)
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

【株式に関するお手続き】

| お手続き・ご照会の内容 | お問合わせ先 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○郵便物の発送と返戻 ○支払期間経過後の配当金 ○特別口座から一般口座への振替 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料) |
| <ul style="list-style-type: none"> ○単元未満株式の買取・買増請求※ ○住所変更・氏名変更 他 | 口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。 ※但し、証券会社に口座を開設されていない株主様は、三菱UFJ信託銀行にお問合わせ下さい。 |

www.alpine.com



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しております。